



助産師レター

滋賀県看護協会助産師職能委員会

VOL. 40

平成31年4月



新年度が始まりました。皆さん如何お過ごしですか？

新人助産師さんが入職された職場、看護管理者やスタッフの交代など、現場は慌ただしい毎日を送られていることと想像します。新しい元号も「令和」と発表され、やわらかな響きがとても心地よく感じます。平成から令和にかけて、新たないのちの誕生のお手伝いや、私たちが必要としている妊産褥婦・ママさんたちへ、助産師の力を結集しながら、頑張っていきましょう。

今年度も職能委員会の活動にご協力・ご支援をよろしくお願い致しますとともに、この助産師レターをご活用していただければ幸いです。(吉岡 千晴)

平成30年度助産師職能集会

平成31年1月20日(日) 9:30~12:00

寒い半日でしたが27人の方が参加されました。保健師さんも3名の参加があり、妊娠・出産・育児の切れ目のない支援について考える機会となりました。

まずは全国と滋賀県での助産師職能委員としての活動報告もあり、今年度のテーマ「妊娠・出産・育児の切れ目のない支援について考える」についてそれぞれの立場から発表をしていただきました。育児不安や産後うつなどを予防していくには妊娠期から継続して支援していくこと、また関係機関と連携を強化していくことが切れ目のない支援につながるのだと感じました。特別養子縁組支援事業への活動も報告され、地域で見守り子育てしていくことの重要性も感じることができ、実りの多い研修でした。

(川島 もと子)



第28回 滋賀県母性衛生学会 学術集会

平成31年2月23日(土) 11:00~17:00に市立長浜病院で開催されました。参加者は160名、一般演題は8題でした。

学術集会長は林嘉彦先生(市立長浜病院 産婦人科部長)、総合テーマは「栄養摂取と母子保健について考えよう」でした。妊娠前から食生活を含め健康への意識を高めていくために思春期から助産師がかかわっていくことが必要性を感じました。

(岡田 幸栄)

平成30年度助産師キャリアアップ 応援事業研修

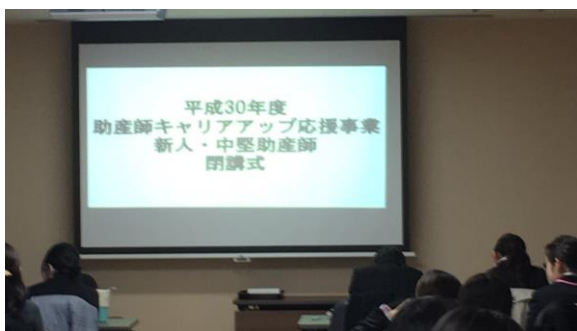


平成31年2月16日(土) 10時~16時30分
滋賀医科大学医学部附属病院3階第3会議室

午前：新人助産師24名が自己課題の達成度の評価を行い、中堅助産師6名は研修施設での報告を発表した。次年度に向けて新たな目標が明確になり、また他施設の方との交流を通して、視野が広がったという意見があった。

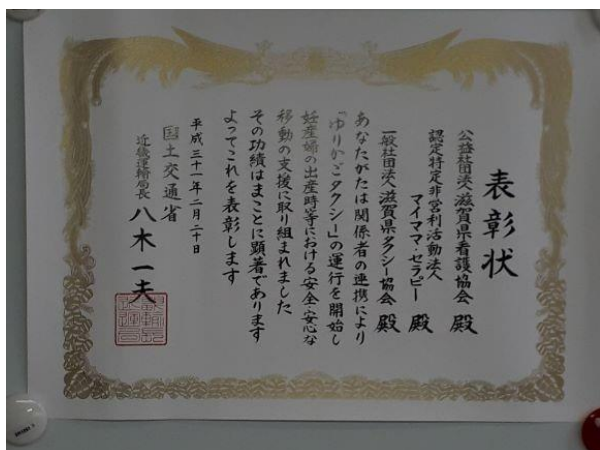
午後：日本看護協会 常任理事 井本寛子氏より「求められている助産師のスキルとは」というテーマで講演がありました。関西ご出身の理事でもあり、周産期の現状から助産師が果たすべき役割まで熱く語られた。医師の働き方改革に関連し、助産師と役割分担していく中で、責任を持ってお産に対処してほしいと述べられた。(吉岡 千晴)

キャリアアップ閉校式の様子



<ゆりかごタクシーへの表彰>

平成31年2月20日 国土交通省近畿運輸局よりゆりかごタクシー（妊婦利用）に対する事業協力において表彰状を頂きました。平成25年から運行開始し助産師職能委員会の活動も評価されました。




平成30年度助産師出向について

3月19日（火）出向事業報告会がありました。今年度は7名の助産師が出向し学びの報告、さらに出向元・出向先からの意見も聞くことができました。出向元・出向先施設も8施設に拡大し、分娩介助はもちろんのこと、自施設では経験できないケアや施設間連携など有意義だったと報告されました。県の事業を有効に活用し、助産実践能力の向上につなげていきたいと思えます。出向支援施設は以下の8施設です。

- ・長浜赤十字病院
- ・神野レディースクリニック
- ・大津赤十字病院
- ・南草津野村病院
- ・市立大津市民病院
- ・野村産婦人科
- ・済生会滋賀県病院
- ・清水産婦人科

～研修会のお知らせ～

<2019年度助産師職能委員会共同企画研修>

※ 令和元年6月20日（木）13:20～
テーマ：事例から学ぶ！胎児心拍数モニタリングの判読とリスク診断

講師：東近江総合医療センター：石河顕子先生
毎年受講者から大好評です。事例を多く紹介していただきます。看護師の方も是非参加してください。

※ 令和元年7月20日（土）
テーマ：臨床推論を用いた助産師教育のあり方を学び実践力向上を目指そう！

講師：京都医療センター附属京都看護助産学校
伊藤美栄先生

CLoCMiP レベルⅢ 認証のための新たな必須研修となりました。今後ますます私たちにも必要な知識となりますので、是非ご参加ください。

